

真のリーダーを目指して



研修会に参加した子どもたち

6月20日、末吉中央公民館で「インリーダー研修会」が行われました。子ども会のリーダーとして必要な知識などを習得し、地域の子ども会の活性化を図ることを目的に市子ども会育成連絡協議会と市教育委員会が毎年開催しています。今回は6子ども会から11名が参加し、インリーダーの役割やレクリエーションで行う歌やダンスを楽しく学びました。

今回の研修で学んだことを活かし地域の子ども会のリーダーとして活躍されることが期待されます。

憶小児童 薩摩鴨の有機農法を学習



合鴨農法について学ぶ児童たち

6月24日、憶小学校の5年生12名が日本有機株式会社を訪れ、薩摩鴨の飼育状況や有機農法について学習しました。

憶小は17年前から、環境学習や食育教育の一環で合鴨農法に取り組んでいます。当日は、ヒナになることのできる卵を見分ける検卵や薩摩鴨、新品種の薩摩黒鴨の生産現場を見学し学習しました。

7月7日には、同社から提供されたヒナ12羽を学校農園に放鳥し、実際に合鴨農法を行っていきます。

戦後70年 〽鹿児島から曾於と鹿屋を巡る〽

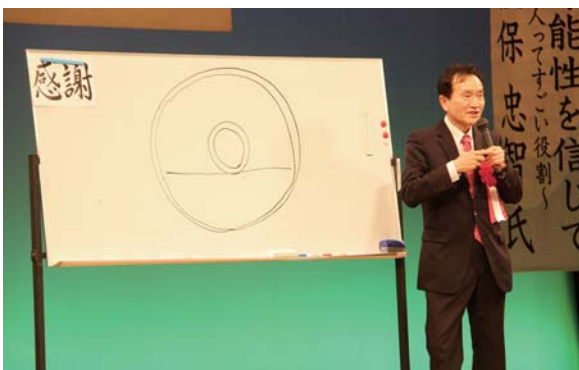


芙蓉之塔で説明を聞く参加者

6月7日、曾於市観光特産開発センターは戦後70年にあたり、鹿児島市の旅行会社と連携し「大隅半島の戦跡を巡るツアー」を企画しました。

串良海軍航空基地等を巡った後、大隅町にある芙蓉之塔や地下発電所の見学を行いました。参加者は観光ボランティアガイドから芙蓉部隊などの説明を聞き、戦争の記憶を思い起こしていました。この芙蓉部隊を題材にした演劇が8月9日に大隅文化会館で公演されます。この公演に合わせて3回目のツアーを予定しています。

青少年育成市民会議総会



講演を行った佐保先生

6月19日、末吉総合センターで「青少年育成市民会議総会」が開催されました。本会議は、家庭づくり部会、環境づくり部会、地域づくり部会の3つの部会で構成されています。今年度は「地域で育み・伸ばそう曾於市の青少年」のスローガンを掲げ、青少年健全育成に努めます。

総会終了後、南九州短期大学教授の佐保忠智さんが「子どもの無限の可能性を信じて」と題し講演を行いました。来場者は「講演の内容を青少年育成に生かしたいです」と話しました。

台湾からの中学生 曾於市の子どもたちと交流



最後に全員で記念写真を撮りました



交流を深めるボーイスカウトの皆さん

曾於市観光特産開発センターは、台湾からの中学生を曾於市に招き、交流活動を行いました。

今回、曾於市を訪れたのは中山中学校の1年生から3年生までの約30人。全校生徒3200人と超が付くほどの大規模校です。

7月12日、台湾から訪れた中学生が全員ボーイスカウトに所属していることから、ボーイスカウト曾於第6団との交流活動がありました。集団ゲームやクラフト作成、記念品や名刺の交換を行いながら、友情を深めました。

曾於第6団の川本陽太さん（14歳）は「言葉はなかなか通じなかったけど、楽しく交流できました」と話しました。

翌7月13日には、財部中学校の生徒と交流を行いました。財部中の皆さんが自慢の合唱で歓迎すると、中山中の皆さんは伝統芸能で歓迎にこたえました。

中山中学校の関係者は「曾於市の豊かな自然や優しい人柄に感動しました。台湾の皆さんに曾於市の素晴らしさを発信します」と話しました。

「茶飲ん場」がオープン



茶飲ん場で語り合う地域の方々

7月7日、茶飲ん場「ハッピー」（末吉町高岡カフェひだまり内）がオープンしました。

茶飲ん場とは、好きな時間にお茶を飲みながら、語り、ふれあう場所のことです。この日も多くの方がお茶を飲みながら笑顔で語っていました。

茶飲ん場ハッピー代表の中野三子さんは「気軽に来てください。人と人がつながる場所になればいいですね」と話しました。

▽開催日…火曜日 ▽時間…午前11時～午後4時 ▽参加料…1人100円

環境保全が認められ県表彰受ける



長谷川さん（左）と年神さん（右）

7月9日、中谷福寿会（財部町）が環境保全活動優秀団体の表彰を受け、福寿会会長の長谷川弘和さんと副会長としがみひろと長谷川弘和さんが市長報告に参りました。

同会は、中谷小学校児童と一緒に10年前から近隣の公道に設けられた2カ所の花壇づくり活動を行っています。また、児童公園の清掃活動、水路の清掃活動など地域の環境を良くするための活動を長年継続しています。長谷川さんは「自然豊かな中谷を守っていききたい」と話しました。